

## 肉用牛改良情報システム

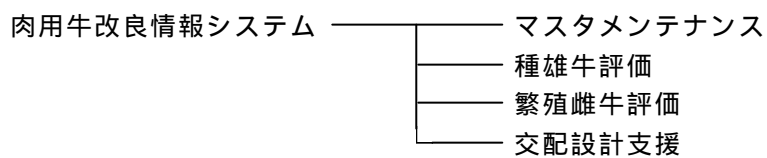
農業研究センター 畜産研究所 生産技術開発部  
企画経営情報部 農業情報室

### 研究のねらい

フィールドにおける子牛・肥育及び枝肉成績の情報収集体制を整備して、これらの成績に基づく種雄牛及び繁殖雌牛の産肉性に関する遺伝能力の解析を行い、優良牛生産のための育種改良情報を提供する。

### 研究の成果

1. 県内産褐毛種和種の血統データ6万件、昭和63年度以降の肥育及び枝肉成績を1万1千頭分データベース化して、BLUP法による種雄牛及び繁殖雌牛の遺伝能力評価を行った。



### 2. 種牛の産肉能力評価

(1) 種雄牛については145頭の遺伝能力評価を行い公表した。

枝肉重量は重球磨、優泉、第一草福、重南、菊重川の順で、BMSNo.では第十光丸、波丸、球波、第五球波、第五春玉の順で改良効果が高い。

(2) 繁殖雌牛については8千6百頭の遺伝能力評価を行い、各指導団体を通じて農家へ情報提供を行った。

### 普及上の留意点

評価結果は、定期的に地域の指導団体を通じ、直接農家へ提供される。

表1 種雄牛の組み合わせによる肉質等級の例 母方祖父 光武 の場合

父 牛	頭数	肉 質 等 級 ( % )					枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm)	B M S N O .
		5	4	3	2	1			
第十光丸	20	15.0	25.0	55.0	5.0	0	450	55.4	5.2
波丸	45	14.6	22.9	54.2	8.3	0	447	49.6	4.9
第三光丸	65	1.5	24.6	53.8	20.0	0	433	51.6	4.2
光重川	78	1.3	14.1	47.4	37.1	0	438	53.7	3.7
第三重川	23	0	12.5	66.7	20.9	0	433	49.7	3.8
計又は平均	674	1.9	13.4	46.5	34.8	0.2	434	51.8	3.7

表2 種雄牛の期待後代差 ( E P D ) B M S N O . で上位3頭を抜粋

各 号	父	母	D G	BMSNO.	ロース芯	ばら厚	皮下脂肪
第十光丸 高76	第二光丸 特級22	ごだい 高1379	20 0.0194	1 1.2520	3 3.7164	6 0.0782	18 -0.1705
波丸 高74	第二重波 特級27	第二まるはな 高2862	43 0.0109	2 0.9547	81 -0.1493	93 -0.0512	104 0.2590
玉波重 高70	波重 特級48	まるさかえ 高394	134 -0.0380	3 0.8906	111 -1.1641	126 -0.1979	7 -0.2717

上段：順位 下段：E P D

図1 情報の流れ

データ収集

